自主事業（一般向け事業）への取り組み

あさひコミュニティ推進協議会は、１９７６年（昭和51年）に活動開始して以来、40年間近く傘下自治会員を対象としたコミュニティ活動に専念する組織として地域の皆様と共に歩んで来ました。

さらに、２０１３年（平成25年）から「小山城南市民交流センター」の指定管理業務受託を契機に、住民への還元事業に加えて、市民交流センターを利用する一般市民に対するサービス機能をも備えた団体に生まれ変わりました。

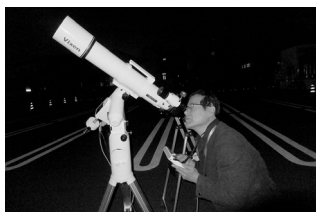
そこで、先ずはセンター利用者に対する窓口機能として「施設管理運営事業部」を立上げました。更に指定管理業務受託に付随して市から要請された「センターを利用しての一般向けの事業の活発化」に対応するため、コミュニティ祭りの拡大と従来の教室活動を自主講座団体へと転換して自主事業としてきました。

更に加えて「自主事業検討委員会」のメンバーを核にしたゆめまち独自の自主事業（一般向け事業）もここ数年の間に何件か立ち上がって参りました。

今号では、それらの一般向け事業を中心に紹介させていただきます。

夕涼み会（天体望遠鏡観測）

総務部の市民向け事業は、主に小・中学生が夏休み期間の課外体験となるように「夕涼み会」を兼ねた「天体観望会」を市立博物館の協力にて実施しています。



市立博物館には天体望遠鏡搭載車「ほっしー☆ＯＹＡＭＡ号」を中心とした数種類の天体望遠鏡があり、夜空を飾る星座群の美しさを体験し、宇宙への夢を広げられる資機材を整備していることから、総務部会では数年前より博物館に依頼し、周辺地域の小・中学生を主体にした夏の夜空を飾る星座の観察する事業を実施しています。

「ほっしー☆ＯＹＡＭＡ号」は、トラック車両に35センチ反射望遠鏡を搭載し、さらにその望遠鏡で他の人が見ている天体を同時に車両の両側にあるモニターに映し出すことが出来て、同時に数10人が同じ天体を見ることができるものです。さらに車外に持ち出せる３台の天体望遠鏡と、数台の天体双眼鏡も装備され、天候さえ良ければ充分満足のできる天体望遠機器であると思います。

総務部は「夕涼み会」を平成25年から博物館に依頼して「夜空の観望」に切替ましたが、天候に恵まれた時は200名を越える親子連れの方がおいでになり、数種類の望遠鏡で様々な星座を見ようと長い行列になりました。

部会では、夕涼みにと数種類のカキ氷を作成し、安価で販売しましたが、これも好評でした。

しかし、昨年は天候に恵まれず、雨天となり、実物の惑星や星座などが観望できない為、博物館員の協力により宇宙、惑星、恒星のこと等を講話と、写真や動画等で説明して頂きました。さらに、楽しみにしていた子供の為にと「冬季の観望会」を追加実施しました。

今年も天候によっては、博物館や「夕涼み会」来館者の意向を聴き「予備日」を決めたいと思っております。

総務部長　山崎　仁

みんなのラジオ体操教室

ラジオ体操は健康な人なら負荷も少なく、誰でも手軽にできる体操です。毎日続けることで加齢や生活の偏りなどの主な原因となる体の「きしみ」を取り除き、人間本来が持っている機能を元の状態に戻し維持する効果があります。又ラジオ体操は呼吸をすることによって、空気中の酸素を体内に取り込んでいます。その酸素は、体内で脂肪や炭水化物を燃やして、エネルギーを作り出すのに必要なのです。こうして作り出されたエネルギーは、私たちが生きていくために使われます。体内に酸素を取り入れ、脳、神経、内臓、筋肉が正常に働くことができます。従ってダイエット効果にもなります。本教室は、毎月第４土曜日、午前10時から50分程度の時間で、全国ラジオ体操連盟公認指導士、野田光典様の指導により、正しい筋肉の作り方、正しい体操の行い方を細かに指導していただき、家で、自分で正しい体操ができるよう教室を開いております。内容は、ラジオ体操第１、第２、みんなの体操を３ヶ月クールで行っています。手軽にでき、ダイエット効果もありますので、みなさんの参加をお待ちしております。

体育社会部長　江原　輝雄

親子茶道教室

９月30日（土）に伝統文化親子茶道教室お月見茶会を開催致します。四季それぞれの花を活けたり、掛け軸など道具も四季に合わせます。お菓子も和菓子職人が手作りで12月に合わせてサンタの顔を作ってくださった時もありました。日本ならではの風流が引き継がれる茶会に、ご家族でぜひご参加してみませんか。

小山広報に掲載されるようになって市内からのご参加を頂いて体験を楽しんで頂いています。時間帯は今年は３時、４時、５時とご希望の時間帯で各20名ですが、定員になった時は次の時間帯も選べます。ちなみに今年の十五夜は10月４日（水）です。満月を楽しみに少し早いお月見茶会体験お待ちしております。

教養・文化部長　佐藤　洋子

ゆめまちで作ろう陶芸教室

生活・環境部の自主活動「ゆめまちで作ろう陶芸」は、申込者が９名あり、陶芸家の喜多里香先生の指導のもと、６月17日（土）と18日（日）が作陶、25日（日）が素焼、７月２日（日）が釉がけ・本焼き、９日（日）が作品の引き渡しとなりました。

参加された方は、土と格闘しながら、素敵な作品ができあがったようです。

また、以前講座に参加され、現在はサークル活動をされているＯＢの方のサポート参加もあり、和気あいあいとした雰囲気で行われました。

生活・環境部長　菅野　正

おはなし会「おはなしびっくりばこ」年4回

地域のボランティアの方にお願いして未就学児を対象としたおはなし会を年４回開催しています。出し物は絵本の読み聞かせ２冊、紙芝居、エプロンシアター、その他です。小さなお子さんが、お母さんと一緒にゆめまちのプレイルームに座って、楽しそうに30分間いい子にしているのは本当にほほえましく感じられます。お知らせを見つけたら遊びに来てください。次回は10月17日（火）10時30分からを予定しています。

市民向け事業は、地区内の回覧、市の広報、ゆめまちのホームページでお知らせしています。ゆめまちのホームページは「ゆめまち　小山」で検索してください。

本部会　山口　寛昌

ゆめまちの小山の歴史講座

かねてより私共推進協議会だからできる事業は何か？と考えておりましたところ、地域内に住んでおられる大島満雄先生が小山市歴史研究会副会長を務めておられることを知ってお願いし、ゆめまちでの講座開催を受けていただきました。

タイトルを『ゆめまちの小山歴史講座』として、平成28年11月に小山政光と寒川尼を核とした小山氏の起こりを第１回目としてスタートしました。

平成29年６月に第３回目を終了しましたが、どの回も全て盛況で、会場の都合で募集人数30名としましたが、毎回オーバーしてご参加いただきました。

大島講師の熱意と、現在住んでいる小山の歴史を広く知っておきたいという聴衆の真剣さが、講座を非常に熱気のあるものにしております。

これからしばらく鎌倉幕府や足利幕府時代の小山氏の歴史講座が続きますが、その先には小山と結城市との関係、小山評定や徳川幕府との関係等にも触れていただいて、益々聴衆の皆様の興味をかきたてるような息の長い講座になって行けたらと期待しております。

本部会　寺嶋　浩志・大島　秀子

ゆめまちの認知症予防教室

事業開始の発端は、平成27年末に「高齢者サポートセンター小山総合」から『ゆめまちで認知症予防をテーマに教室を開催させて欲しい』との依頼を受け、早速傘下14自治会への回覧で募集したところ、残念ながら15名程度の人しか集まりませんでした。そこでいろいろ検討した結果、本教室を「あさひコミュニティ推進協議会」主催の一般向け事業と位置づけて、地域内回覧に加えて市の広報や自前のＨＰを使って募集することにしました。

事業名を「ゆめまちの認知症予防教室」として、平成28年５月に第１回目を募集したところ予定していた35人以上が集まりました。その後も順次定期的に開催し、先の平成29年７月が第６回目の開催になりました。

この事業は、地域包括ケアシステムがねらいとする「認知症を学び地域で支えよう」を学ぶ教室ではありません。地域から認知症患者を無くすためにどうすべきかをみんなで考える教室にして行けたらと思っています。

要するに年をとったら誰もが認知症になるのは避けられないとあきらめるのではなく、認知症を経験しないで済む年寄りになろうと言うことです。

スタートしてからまだ２年目ですが、「高齢者サポートセンター小山総合」の皆様はもちろんのこと、教室に参加される方々のご支援もいただきながら、徐々に本来の目的に向かって内容を高めて行こうではありませんか。

本部会　寺嶋　浩志

コミュニティは安全で安心な地域作りを目指します

※コミュニティセンター連絡先
２７－９９３５
（毎日９時～21時）